

Q 会員の皆さんは、大阪滋賀県人会をどのように感じておられますか…？

A いい質問ですね。
元気で笑顔の皆さんです。メッセージをお読みください。

ふるさととは…こころの拠り所です ふるさとを…誇りに思います そして、ふるさとが…好きで好きでたまらない 私たちです

温かさを感じる会の運営

私は、東近江市生まれですが、就職と同時に生活拠点を関東に移し、今では故郷滋賀は遠くに感じています。

平成半ばから大阪に出向くことも多く、知人の強い勧めもあって大阪滋賀県人会に入会いたしました。

長い歴史があり、上下関係に厳しく堅苦しい…そんな会を予想していただけに、会員皆さんの温かい対応に驚き、安堵し、楽しく過ごさせて頂いた記憶が鮮明に残っています。

滋賀県以外の地で江州音頭を踊れるとは夢にも思っていませんでした。囃子を聞きながら踊っていると、若い時の記憶が蘇り、思い出と共に懐かしさと哀愁を感じています。そんな納涼ファミリー大会は大きな魅力です。

当会の特徴は、皆さんに楽しんで頂こうと運営委員の方が一生懸命に努力されていることだと思います。帰り際の会員さんの感謝の言葉は、その現れであり、聞いていて心の安らぎを覚えます。滋賀県にゆかりのある方は是非、入会をお考え下さい。

大阪から滋賀のために

滋賀県は食の宝庫。日本全国酒飲み音頭という歌がかつて流行りました。滋賀県人会では、一年中「和醸良酒」が楽しめます。

1月は鮒寿司で酒が飲めるそーから始まり、2月は「えび豆」スジエビ、3月は本モロコ、4月はいさぎで「じゅんじゅん」、5月は鯉のぼり、子持ち鯉のうま煮、6月はゴシノボリ(ウロリ、ゴッ)の佃煮、7月は琵琶湖の宝石…琵琶鱒の刺身、8月はお盆で鮎の塩焼、9月は近江牛でBBQ、10月は脂の乗った天然鰻の蒲焼、11月には真鴨獺の解禁、12月氷魚(ヒウオ)で縁起良く締めます。

「酒は風土を映す鏡」、湖国の美しい景色を眺めながらの一杯は格別です。棚田の風景を今に残す良質の近江米と比良山系の清き伏流水でつくる「萩の露」の酒蔵、福井弥平商店が信条にするのは「酔う酒ではなく味わうための酒を」。

美味しい料理を食し、郷里に思いを馳せながら歌い、大阪から滋賀のために何が出来るかを共に考えましょう！

絵画と大阪滋賀県人会

私が故郷を離れ一番に感じたのは、ふるさと滋賀の自然の美しさでした。その景観に魅了され、絵筆をとりキャンパスに向かいました。

県人会とのご縁は、当時、ギャラリー21で個展を開かれていた野々村晃先生との出会いでした。先生の温かいお言葉を頂き、当会に入会させて頂きました。

今まで知らなかった滋賀の歴史、文化、自然に満ち溢れた琵琶湖の魅力そして日本経済発展に貢献なさった先人方々のお話、県人会に入会させて頂いたおかげで、多くのことを学びました。

入会して20数年、80歳になった今、第二の人生を満喫できるのも、県人会のおかげ、否、魅力かな…とつくづく思います。自慢できる当会に是非ご入会頂き、共に喜びを分かち合いましょう。

素晴らしい響き、以和為貴

大阪滋賀県人会の活動テーマ『和を以て貴しと為す』…この素晴らしい響き、大変気に入っています。

紅葉の名所永源寺で生まれ育ち全くの世間知らずの私は、結婚を期に、東京に移り住むことになりました。井の中の蛙大海を知らず…この諺の如く、悲惨な生活が待ち受けていました。生死をさ迷いながら一筋の光明に助けられ、人生は大きく変わりました。明日に生きる自分を見つけ出したのです。30歳前後のことです。

今は亡き主人・佐々木鐵仙にめぐり会い、家族4人がどん底から共に這い上がってきました。今、私は大阪滋賀県人会の皆様とご親交を頂き多くの行事に参加しています。

書道家・佐々木鐵仙は、和〔輪〕の作品を数多く残しています。きっと鐵仙が、県人会へと導いてくれたのでしょう。会員の皆様と心置きなく接し、語り合え、心の温もりを感じるのは、正に和〔輪〕なんですよね。

語り合おう…郷土滋賀

郷土滋賀に何らかの接点と関わりを持ち、そして直接、間接の貢献に繋がるならば有難いことです。

わが滋賀の魅力は、琵琶湖と比良・鈴鹿の山々の自然と近江商人はじめ近江の賢人達の人財です。売り手よし、買い手よし、世間よしの「三方よし」の精神は、今の時代においても商いの真骨頂と言えます。

水都大阪の源流は琵琶湖にあり、商都大阪のこころの原点は近江商人の志にあります。なにわと近江は、いにしえより深い縁で結ばれ、現在の大阪の発展に繋がっています。故郷滋賀に関心を持ち、新たな感動、感謝のこころを共有しようではありませんか。

大阪滋賀県人会は、今後とも一期一会を大切に、大阪と滋賀の絆を一層深め、会員相互の交流親睦を重ねていきたいものです。是非共ご入会下さい。

レジェンドから学ぶ

大阪滋賀県人会に入会させて頂き4年近く経ちますが、40歳手前の若輩者の私にいつもお声掛け下さり有り難うございます。

営業をしている私は、人生勉強のつもりで、誰に勧められるでもなく自ら、当会に入会しました。

人とのご縁で仕事を楽いてこれ、更にその最前線を引っ張っていらっしゃるレジェンドの方々が溢れているとてつもなくすごい環境！、これが私が感じている大阪滋賀県人会です。三方よしを体現されていらっしゃる大先輩方々と語り、自分流に勉強中で、いつも感謝です。

アドバイスをもらいながら、若手の会員増強という名目で、私のやりたい事(レジェンド方々からの勉強！)をすするために、仲間を作り立ち上げた『若手塾』ですが、コロナ禍で思うように活動できておりません。

しかし、滋賀の沖島をシンボルにして少しずつ兆しが見えてきたことに大きな喜びを感じています。

ご指導よろしくお願い致します。



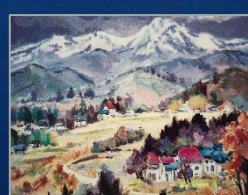
常任理事 荒居新蔵
(株)スイタ情報システム
代表取締役社長



副会長 徳岡浩二
(株)徳岡設計
代表取締役社長



西田富美子



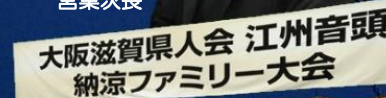
佐々木室子



副会長 川崎健市
(株)バーステートジャパン
取締役会長



若手塾 塾長 木村彰成
シブラルタ生命保険(株)
営業次長



大阪滋賀県人会 江州音頭
納涼ファミリー大会